

こだま764号車両火災事故!!

**同型式車両は、原因が究明されるまで
直ちに運行中止すること!!**

8月25日、「こだま764号車両火災事故」で関西支社に申し入れ（「申」第2号）

8月15日、21時45分頃、米原～岐阜羽島間を走行中の「こだま764号」で発生した車両火災事故は、乗客・乗務員の生命と安全に直結する極めて重大な事象であり、新幹線の「安全・安心」への信頼を大きく揺るがすものであります。

今回の車両火災事故に関して、会社としての原因究明・再発防止対策を明確にし、現場社員及び利用者に対する安全確保を徹底することを強く求めるため、会社に対して以下の申し入れを行いました。

1. 同型式車両について、原因が究明されるまで直ちに運行を中止すること。
2. 車両火災の直接的原因及び背景要因について、時系列で詳細に報告すること。
3. 原因究明においては、メーカー・車両現場を含めた多角的な視点で検証し、その結果を明らかにすること。
4. 同形式車両について直ちに点検・検証を実施し、その結果を現場に共有すること。
5. 運転士・車掌・駅係員をはじめとする現場社員に対し、事故概要・対応策を速やかに周知すること。
6. 火災・焼損発生時の具体的な対応マニュアルを再点検し、訓練を強化すること。
7. 他編成を含め、主変換装置故障が相次いでいる。故障件数及び故障原因を全て明らかにすること。
8. 主変換装置故障により故障車の「CI開放」のまま運行を継続している理由を明らかにすること。
9. 会社は、営利優先の姿勢を直ちにやめること。安全を最優先とする姿勢を明確に示し、お客様が安心して新幹線をご利用できる体制を整えること。

現在も新幹線運行において動・止の制御部分である、「主変換装置」は、複数の車両で故障のまま運行されているのが現状です。

もっばら、「部品が無い」との関係者の証言もあります。
もし、部品が無くて運行を継続させているなら、そのこと自体、安全を脅かす行為そのものです。

会社は、早急に原因を究明し、運行優先より安全第一の施策を講じること!